

国見のみかん園が始まっています 🍊

毎年この時期にオープンしている、「国見のみかん園」が今年も始まりました！小木須地区の国見にあるみかん園たちは、日本最北端の観光みかん園だといわれています。みかんといえば愛媛県や熊本県などの暖かい場所で栽培されることが多いかと思いますが、なぜ市内でも採れるのでしょうか？その秘密には、国見の地形等が深く関係しています。

国見のみかん園は、山の高いところにあり、急斜面にみかんの木が植えられています。その高さや斜面にあるのもポイントで、暖かい空気が溜まりやすくなっており、冬でも霜が降りにくい「無霜地域」のため、木が枯れることなく育つことができます。また、みかん園の北側は、山に囲われており北風から守られているため、寒さに弱いみかんも無事なわけです。

程よい酸味と濃厚な味が人気の国見みかんですが、開発当時は酸味が強すぎるなど、商品として出せるような味になるまで、なかなか苦戦したようです。栽培し始めてから50年ほど経ち、おいしいみかんが食べられるようになったそうで、長い年月と人々の努力によってこの「国見みかん」のおいしさは成り立っています。

今年のみかんは豊作で、11月いっぱいまでみかん狩りができるだろうとのこと。市の特産物の1つであり、年々おいしさが増している国見みかん、皆さんもぜひ召し上がってみてください😊🍷



△みかんの実がびっしり



△みかん園からの眺め



△急斜面になっている様子



お知らせ

✓「那須烏山市のジオサイトを知ろう」参加者募集

12月6日(日)に、那須烏山市のジオサイトを知ろう「河原の石ころ観察会」を開催します。高瀬地区内の河川敷にある石の観察を行いながら、日本列島の形成頃の様子と、海の時代の那須烏山について学びます。化石も発見できるかも・・・!どなたでも参加でき、お子様向けの内容でもあるため、ぜひご家族でもご参加ください。参加希望者や、イベントの詳細については、裏面の1番下にある連絡先までお気軽にお問い合わせください。



各小・中学校で野外観察を行いました

荒川小4年生

【コース1】 シモツケコウホネと大金クジラ発見地



【コース2】 和紙の里・とげし解石神社・たいへいじ太平寺



七合小6年生

松山工業(中山石)と烏山城カントリークラブ



境小4年生

解石神社・和紙の里・国見のみかん園



江川小6年生

- ・ 荒川沿いの地層観察
- ・ 市内で採れた化石のお披露目



編集後記

10月某日、猿久保田んぼ公園周辺が何やら賑わっているとの情報を受け、駆け付けてみると・・・！満開の彼岸花と、小ぶりなヒマワリが一面に咲いていました。このヒマワリは、「荒川南部地域保全会・荒川南部土地改良区」の皆さんが小埸地内の JR 烏山線沿いに植栽したそうです。例年、彼岸花は見ることができますが秋のヒマワリは珍しく、アキユムとヒマワリを撮影しに来る方も何人かお見掛けしました。残念ながらもう花は咲いていませんが、すごくきれいだったので写真だけでも見てください👉自然に囲まれた猿久保田んぼ公園、お散歩に行ってみては？☺

隠れた写真スポット！

